

MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、子ども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. 子どもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。



編集発行人：濱塚有史 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA
岩手県盛岡市本町通3-1-1



4月号 特集 YMCAの1年

地の塩、世の光 (聖書 マタイによる福音書5章13節～14節)

盛岡YMCA 総筆
盛岡YMCA 総筆 鮎川谷三平代

これは主イエスの「山上の説教」の一部です。無論、今日の私たちに對して語られた言葉でもあります。そして、「地の塩、世の光」は、人間のあり方を語るひな形として、小説や評論文などキリスト教界以外のテキストでもしばしば引用されるフレーズです。

塩は古代ローマでは成立初期の時代（前6世紀）に支配者が製造、販売を独占していたことや、ラテン語の塩（サル）と給料（サラリー）が同じ語源であることなど、その重要度を物語る逸話は多数あります。たとえば「塩梅（あんばい）がよい」という言い回しもその一つでしょうし、食物の塩漬けや大相撲における浄めの塩も思い起こされます。このように、人は味付けや防腐用あるいは宗教儀式のために塩を大切にしてきました。

主は「あなたがたは地の塩である。」「あなたがたは世の光である。」と言われました。この「あなたがた」とは特別な地位も名も無く、貧しく、平凡な人びとのことでもあります。その人びとに對して主は、地の塩でありなさい、世の光でありなさい、と言われたのではありません。あなたがたは既に地の塩であり、世の光であると断言されておられます。では「地の塩」とはどういうことでしょうか。塩とは言うまでも無く、料理の味付けに使います。しかし、料理の中に塩が見えるようでは塩辛くて食べられません。隠れることで料理の味を活かすのです。いわば自らを溶かして他者の味を引き出し、他者と代わって雑菌とも戦い、自らを他者に献げるあり方があります。「光」もそうです。これは自己主張の象徴のように思われがちですが、ろうそくをイメージする

とお分かりのように、自身を溶かして隣人を照らすあり方に主眼があります。聖書冒頭の「創世記」からも、それが読み取られます。創世記1章3節によれば、闇だけの世界にむけてまず「光、あれ」と呼びかけました。そして光が現れた。けれども聖書をよく読むと、光が闇を征服し、自分のカラーにすべてを染め変えたとは書かれていません。「神は光と闇を分けた」（創世記1章4節）という言葉が暗示するように、光はひとたび、自身を闇の中に溶け込ませた、と読みとれます。主イエスがマタイ福音書で語る「光」も、私たちが日常的に見る「明かり」とは異なる性格のものであります。闇（絶望）の中に静かに浸透し、混ざり合い、闇自身を輝かせ、希望をもたらす不可視的な光であります。

さて、塩は壺の中にあるままでは何の効果ももたらしません。光は闇の中に置かなければその力を発揮することはできません。したがって、「地の塩、世の光」というものは、自分とは違う環境に置かれてはじめて、その働きが見えてきます。そして両方とも必ずしも多くなくて良いのです。ほんの僅かで良いのです。塩は少量で食べ物の味を引き立たせるのであり、光は闇の中であってこそ人びとを照らし希望を与えることができるのです。

私たちが「地の塩、世の光」であるということは、たとえ少数派であろうと、大きな力を持っていなかろうと、主イエスの愛と出会うことで、憎しみや敵意、差別や偏見を孕むこの世界で、自らを溶かし、地と世に献げるもの。その本来の味を引き立て、輝きを増し加えるもの。悲しみの現実に取り添うもの。ここに主イエスにならおうとする人の祈りがあります。

特集:YMCAの1年



5月アド 盛岡市動物公園

- ★6月13日(日) サンディスクール 「アイス作り」
- ★6月26日(土)27日(日)アドベンチャー6月活動 「夜空でキャンプファイヤー」 於 八幡平 岩手県民の森キャンプ場(予定)



ファミリーサッカー大会

- ★8月2日(月)~6日(金) 中学生英語夏期講習②
- ★8月2日(月)~6日(金) サマースクール②
- ★8月3日(火)~6日(金) サッカーキャンプ
- ★8月8日(日)~11日(水) 海の生活体験キャンプ
- ★8月8日(日)~10日(火) 山のキャンプ
- ★8月12日(木)~15日(日) 休館(学童保育お休み)
- ★8月29日(日)アドベンチャー8月活動 「小川で水遊び」 於 矢巾町立自然公園
- ☆ 通常プログラム2期開講(サッカー、水泳、英語)



縄文キャンプ (御所野縄文公園)

新しい年度がスタートしました。盛岡YMCAでも新年度のプログラムが始まり、新たな出会いが生まれています。今回の特集では盛岡YMCAの1年のスケジュール(紹介)を紹介します。まだ、会場などの関係で変更する場合がありますので正式の案内は、各種チラシ、もしくはニュースの情報コーナーをご参照下さい。

五月

- ★5月2日、3日 リーダートレーニング1泊キャンプ 八幡平 岩手県民の森キャンプ場
- ★5月16日(日)アドベンチャー5月活動 「動物園にGO！」
- ★5月22日(土) 2010年度会員総会 於 岩手情報交流センター団体活動室
- ★5月23日(日) サンディスクール 「押し花作り」 仁王児童センター



サンディスクール

六月

- ★7月4日 サンディスクール 「水鉄砲作り」
- ★7月11日(日) ファミリーサッカー大会 於 北松園小
- ★7月18日(日)19日(祝)わんぱくキャンプ 於 都南 つどいの森キャンプ場(予定)
- ★7月26日(月)~30日(金) 中学英語夏期講習①
- ★7月26日(月)~30日(金) サマースクール①
- ☆ 通常プログラム1期終了(サッカー、水泳、英語)

七月

八月



海の生活体験キャンプ (気仙沼大島)



中津川

- ★ 10月3日 サンディスクール
「はがき作り」
- ★ 10月24日(日) アドベンチャー10月活動
「追跡ハイキング」 外山森林公園(予定)



11月 チャリティコンサート



11月 街頭募金

- ★ 12月5日(日) サンディスクール
「ステンドグラス作り」
- ★ 12月17日(金) キッズクリスマス
- ★ 12月23日(木)24日(金)クリスマスキャンプ
- ★ 12月26日(日)～29日(水)ウインタースクール(仮)
- ★ 12月26日(日)～30日(木) 中学英語冬期講習①
- ★ 12月26日(日)～29日(水) エンジョイスキーキャンプ
- ★ 12月27日(月)～29日(水) ジュニアスキーキャンプ
- ★ 12月29日～1月3日(月) YMCA休館(学童保育お休み)
- ☆ 通常プログラム2期終了(サッカー、水泳、英語)
- ※ 12月30日は英語冬期講習のみ開講

- ★ 2月11日(祝) フットサル大会
- ★ 2月13日(日) サンディスクール「竹細工」
- ★ 2月19日(土)20日(日) アドベンチャー2月活動
「スキー&雪祭り体験」 秋田県営田沢湖スキー場



3月 春のアドベンチャー

九月

十月

十一月

十二月

一月

二月

三月

- ★ 9月18日 シャボン玉作り
- ★ 9月25日(土)～26日(日) アドベンチャー9月活動
「収穫の秋 キャンプ」 秋田県仙北市思い出の潟分校予定



11月 ミニサッカー大会

- ★ 国際協力募金活動開始
- ★ 11月7日(日) ミニサッカー大会 仁王小学校校庭
- ★ 11月3日(祝) 昔の遊び体験
- ★ 11月14日か21日 チャリティコンサート
- ★ 11月23日(祝) 街頭募金
- ★ 11月28日(日) アドベンチャー11月活動
ミステリーバスツアー



12月 スキーキャンプ

- ★ 1月4日(火)～8日(土) 中学英語冬期講習②
- ★ 1月4日(火)～7日(金) サッカー合宿
- ★ 1月5日(水)～8日(土) ウインタースクール
- ★ 1月9日(日)～11日(火) 雪んこキャンプ
- ★ 1月9日(日)～11日(火) ニューイヤースキーキャンプ
- ★ 1月11日(月)～1月15日 中学英語冬期講習③
- ★ 1月23日(日) サンディスクール
- ★ 1月30日(日) アドベンチャー1月活動 日帰りスキー
- ☆ 通常プログラム3期開講(サッカー、水泳、英語)

- ★ 3月6日 サンディスクール うどん作り
- ★ 3月20日(日)
チャリティフットサル大会 岩手県営体育館
- ★ 3月22日(火)～26日(土)スプリングスクール
- ★ 3月22日(火)～26日(土)小・中学生春期英語講習
- ★ 3月28日(月)～31日(木)サッカー合宿
- ★ 3月29日(火)～31日(木)アドベンチャー3月活動
- ☆☆通常プログラム3期終了(サッカー、水泳、英語)
- ※ 卒業リーダー送別会

5月の予定

★5月8日(土)
常議員会・理事会
(於岩手情報交流センター6階)

★5月8日(土)
もりおかワイズメンズ第1例会
★5月16日(日)
アドベンチャークラブ5月活動

「動物園にGO」
★5月21日(金)
もりおかワイズメンズ第2例会
(於岩手情報交流センター6階)

★5月22日(土)
盛岡YMCA会員総会
(於岩手情報交流センター6階)

会員総会のご案内

2010年度会員総会が下記の日程で開催されます。
記

期日：5月22日(土)
時間：17:00～19:00
場所：岩手情報交流センターアイーナ
6階 団体活動室②
※ 維持会員の皆様には後日連絡致します。

リーダーお勧めの本⑥
てんむすリーダー

ありがとうが言いたかったんだ

吉田秀樹一作 花岡道子一画



この本は、確か私が小学校低学年くらいに買った本だったかと思います。物語の主人公であるヒロシはおばあちゃんが大好きで、「おっばあ」と呼んでいました。ある日ヒロシは、両親のヒソヒソ話を聞いてしまいます。なんと、おっばあはガンだということです。その話の中でお母さんは、治る見込みがないから本当のことをおっばあに言わないのが、本当の思いやりだと言っていました。しかしヒロシには納得が出来ません。平気で嘘をつくお母さんにいら立ちながら、おっ

ばあにとってのほんとうの思いやりとは何だろうと考えました。そして、ガンを治してあげるのは無理だけど、せめてありがとうと言いたいと思い、おっばあにほんとうのことを言う決意をします。この本を読みながら、私もヒロシと一緒に本当の思いやりや大切な人の死について考えました。考えているととても悲しくて辛かったのですが、読み終えたとき心がジーンとして、それからどこかあたたかくなったのを感じています。とても大切なことを考えさせてくれるきっかけになった、今でも読み返したくなるお気に入りの本です。



盛岡大学 文学部社会文化学科2年
てんむす(高橋みどり)

感謝

(2010年4月から)

維持会員

順不同・敬称略
鶴丹谷三千代、水田賢次、菊池崇

寄付金

江、熊谷大樹

◆ 水田賢次、熊谷大樹
盛岡YMCAの維持会員としてYMCAの諸活動をお支え下さい。
申し込み方法は、YMCAにお問い合わせ下さい。

★ 維持会員 ★

盛岡YMCAは、1983年から活動を始め世界を見つめながら盛岡の地域に根ざした活動を多くの方々から支えられながら続けて来ました。維持会員とは、盛岡YMCAの使命に賛同し盛岡YMCAの活動を支えるため、維持会費を払って会員となった人たちです。



～表紙の写真から～

今回の3月アドベンチャー「秋田の分校に泊まろう!」で、私は多くの子どもたちから様々なことを感じました。参加してくれたメンバーは初めての子が多くてお友達をいっぱい作って欲しいとか、このYMCAのアドベンチャーが春休みの良い思い出になって欲しいなと思っていました。子どもたちの表情も1日目よりも2日目、2日目よりも3日目とどんどん良くなっていき、いろいろな遊びに本当に夢中になって楽しそうだったし、私も子どものように校舎を駆け回っていました。
時が経つに連れて子どもたち同士の関わりも見られていき、楽しく遊んでいる場面、喧嘩する場面など様々なことがありましたが、徐々にお互いがお互いを意識しはじめ、意見が食い違うような場面でも相手を尊重し合うようになっていきました。私はそんな子どもたちの様子を目の当たりにし、改めて子どもたちの持つパワーを感じました。子どもたちには一人一人に違った個性があり、またそれぞれの良い所や可能性も無限大です。
今回は24人も集まったから本当の面白かったし。子どもたちから多くのものをもらいました。私にとっては今回のアドベンチャーのすべての場面が思い出です。また、みんなと活動で会える日を楽しみにしています。

盛岡YMCA リーダー 前田裕太
(ズ) 盛岡大学文学部児童教育学科2年



私、いもこから牛くんの紹介をします。牛くんは岩手県立大学ソフトウェア情報学部の2年生です。

◆リーダー紹介◆

生かす見聞出来るほど。サッカーの上から活動に対する姿勢などいろいろあるな面からこれからも見習っていきたく思います。



こんにちは。うしらはいもこからリーダーの紹介をしたいと思えます。いもこは岩手県立大学看護学部の2年生。秋田県出身で、なんと今年の3月に卒業したパツソリーダーの妹なのです。いもこはサッカースクールやアドベンチャークラブ、サンデーなどで活躍しています。彼女のことを一言で表せば「天然」。これ以外に言いようがありません。意外と(?)天然が多いリーダーの中でも、ずば抜けています。そんな彼女ですが、子供達にはとても人気。そしてはいじられキャラな彼女ですが、何だかんだでリーダーからの人気や信頼も厚く、いもこがいるだけで場が和んでいくのが分かります。また、いもここと話している時、とても会話上手だなあと感じることがしばしばあり、天然天然と言われているのが実は結構しっかりしている部分もあります。でもやっぱり天然ないもこ。今回はそんないもこの紹介でした。

ばあにとってのほんとうの思いやりとは何だろうと考えました。そして、ガンを治してあげるのは無理だけど、せめてありがとうと言いたいと思い、おっばあにほんとうのことを言う決意をします。この本を読みながら、私もヒロシと一緒に本当の思いやりや大切な人の死について考えました。考えているととても悲しくて辛かったのですが、読み終えたとき心がジーンとして、それからどこかあたたかくなったのを感じています。とても大切なことを考えさせてくれるきっかけになった、今でも読み返したくなるお気に入りの本です。

岩手県立大学看護学部の2年生。秋田県出身で、なんと今年の3月に卒業したパツソリーダーの妹なのです。いもこはサッカースクールやアドベンチャークラブ、サンデーなどで活躍しています。彼女のことを一言で表せば「天然」。これ以外に言いようがありません。意外と(?)天然が多いリーダーの中でも、ずば抜けています。そんな彼女ですが、子供達にはとても人気。そしてはいじられキャラな彼女ですが、何だかんだでリーダーからの人気や信頼も厚く、いもこがいるだけで場が和んでいくのが分かります。また、いもここと話している時、とても会話上手だなあと感じることがしばしばあり、天然天然と言われているのが実は結構しっかりしている部分もあります。でもやっぱり天然ないもこ。今回はそんないもこの紹介でした。